

# MFJTR 集計システム と ScanSnap のインストール

2019全日本トヨタ杯選手権第7戦東北大会

国際A級入賞 - 3Lap

順位	ビッパ	氏名	減点	ク->	G計	C計
1	1	小川 友幸	1	1	8	18
2	6	氏川 政哉	0	2	10	16
3	4	柴田 暁	5	1	13	14
4	2	野崎 史高	0	2	15	19
5	5	小川 毅士	0	2	19	16
6	3	黒山 健一	7	0	19	16
7	12	久岡 孝二	5	1	36	12
8	7	斎藤 晶夫	6	0	42	8
9	10	吉良 祐哉	6	0	53	9
10	8	藤原 慎也	5	1	54	5
11	11	野本 佳尊	0	0	60	5
12	19	永久保 恭平	0	0	65	4

選手数: 19 19:46:58

ビッパ	氏名	1L	2L	3L
1	小川 友幸			
2	野崎 史高			
3	黒山 健一			
4	柴田 暁			
5	小川 毅士			
6	氏川 政哉			
7	斎藤 晶夫			
8	藤原 慎也			
9	岡村 将敏			
10	吉良 祐哉			
11	野本 佳尊			
12	永久保 恭平			

12ビッパ / 3ラップ

国際A級入賞 -	順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	timeP	追加P	減点	クリーン
国際A級入賞 -	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	10
国際A級	1Lap	1	0	0	0	0	0	0									
国際B級	2Lap	1	0	0	5	0	0	0			0	1	0	1		7	7
レディース	3Lap	1	0	1												1	1
(なし)																8	18



初版 2015年10月1日  
 第2版 2023年1月10日  
 第3版 2026年3月18日

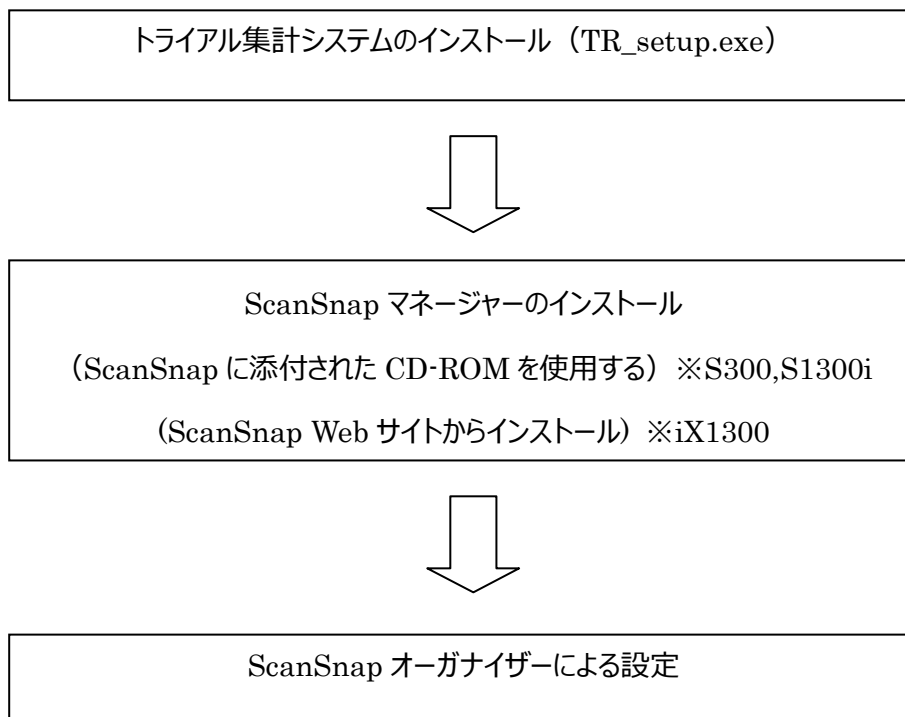


一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

## 目次

1. インストールの順序.....	2
2. 推奨構成.....	2
3. トライアル集計システムのインストール (TR_setup.EXE) .....	3
3-1. インストールプログラムのダウンロード.....	3
3-2. インストールの用意.....	5
3-3. インストール開始.....	6
3-4. アンインストールするときは.....	8
4. ScanSnap マネージャー のインストール.....	9
4-1. ScanSnap S300 または S1300i の場合.....	9
4-2. ScanSnap iX1300 の場合.....	10
5. ScanSnap オーガナイザーによる設定.....	11
6. パンチカードをスキャナにセットする向き.....	20
7. 画像の(裏表)確認と範囲を設定 .....	21

## 1. インストールの順序



## 2. 推奨構成

OS : WindowsXP, Windows7, Windows8, Windows8.1, Windows10, Windows11

メモリ : 4GB 以上

USB : 2.0 を推奨

スキャナ : 富士通 ScanSnap S300, ScanSnapS1300i, 後継機種 ScanSnapiX1300

プリンタ : 各種使用可 A4 出力

専用パンチカード : 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ) から購入可能

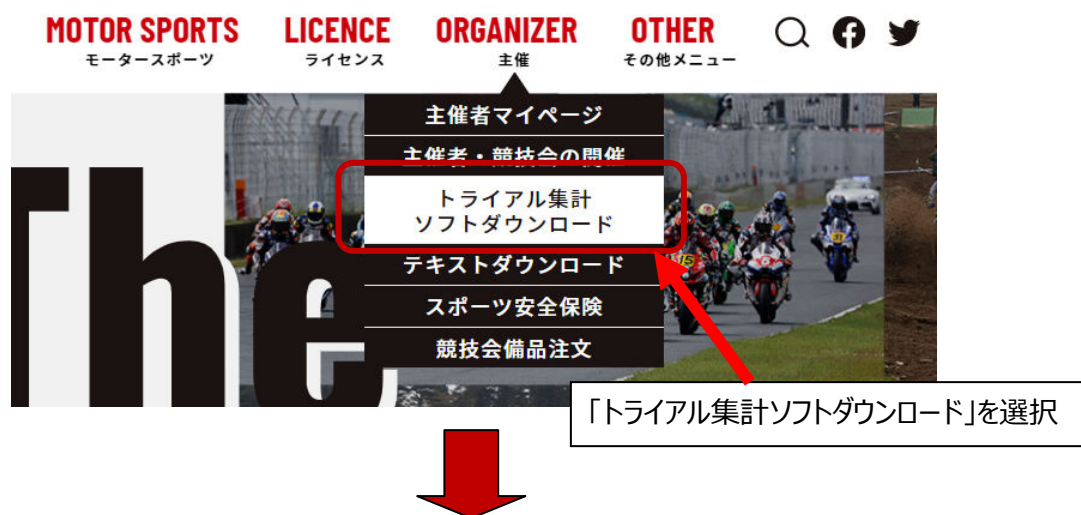
### 3. トライアル集計システムのインストール (TR\_setup.EXE)

※Windows にはアドミニストレーター権限のユーザーでログインしてください。

#### 3-1. インストールプログラムのダウンロード

トライアル集計システムは 一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ) のホームページから自由にダウンロード可能です。

<https://www.mfj.or.jp/>



## Software Download

### MFJトライアル競技 集計ソフトウェア

このプログラムは、トライアル競技の結果集計に使用するソフトウェアです。  
全日本選手権をはじめ、MFJトライアル競技規則を適用する競技会でどなたでもご使用いただけます。

#### ご利用推奨環境

OS	WindowsXP, Windows7, Windows8, Windows8.1, Windows10
メモリ	2GB 以上
USB	2.0 を推奨
スキャナ	富士通ScanSnap S300, ScanSnapS1300i
プリンタ	各種使用可 A4 出力

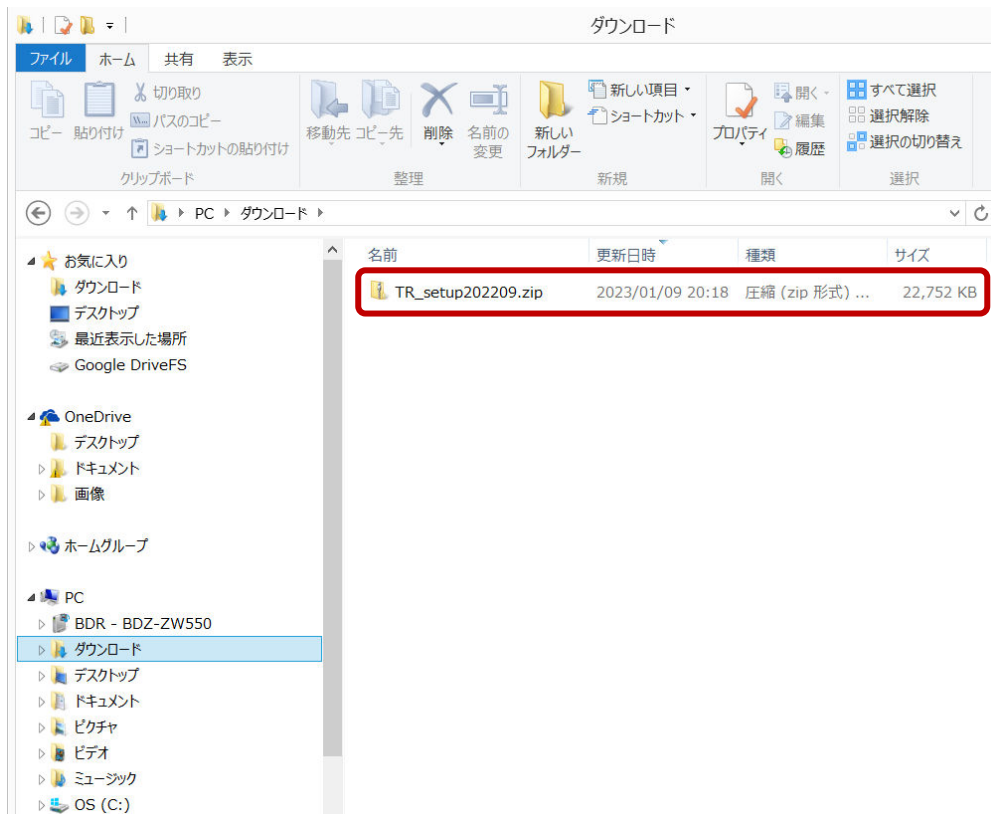
このソフトでは、新型のパンチカード (両面印字、MFJロゴ入り) をご使用ください。

[パンチカードのご注文はこちら](#) >

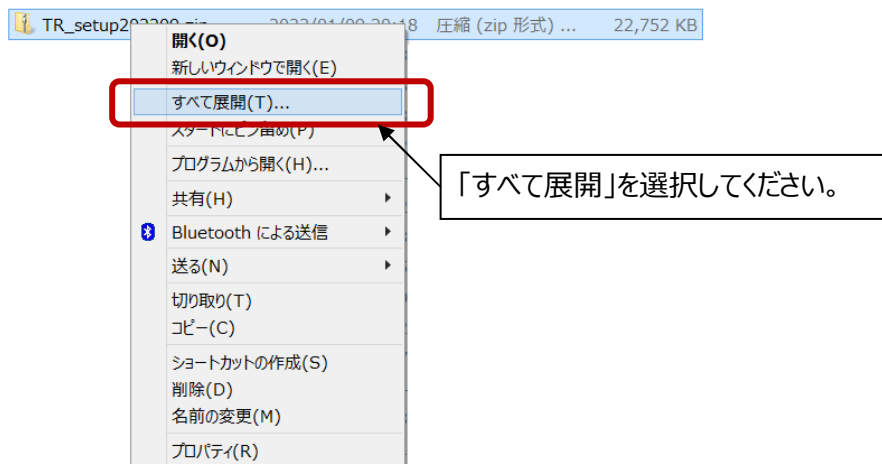
## Software Download

### ソフトダウンロード

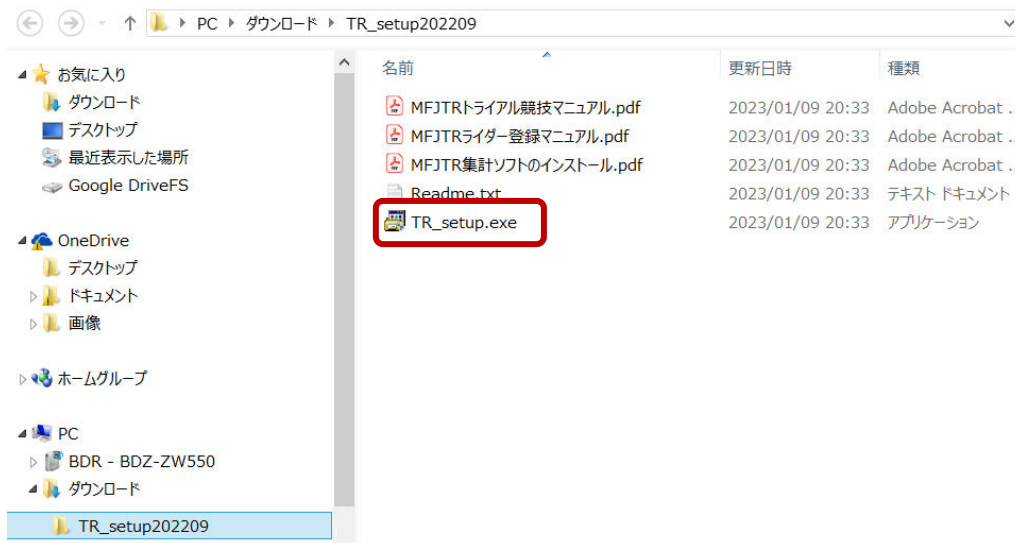




エクスプローラーで「ダウンロード」フォルダに TR\_setupXXXXXX.zip がダウンロードされたことを確認します。



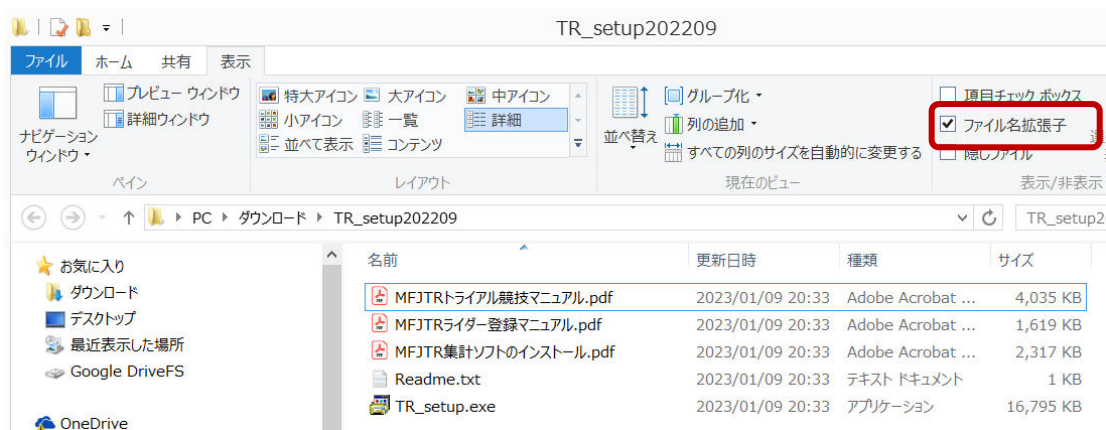
### 3-2. インストールの用意



フォルダーの中にはトライアル集計システムのマニュアル類とインストールプログラム（TR\_setup.exe）があります。

「TR\_setup.exe」をマウスダブルクリックかマウス右クリックで「開く」を選択してください。

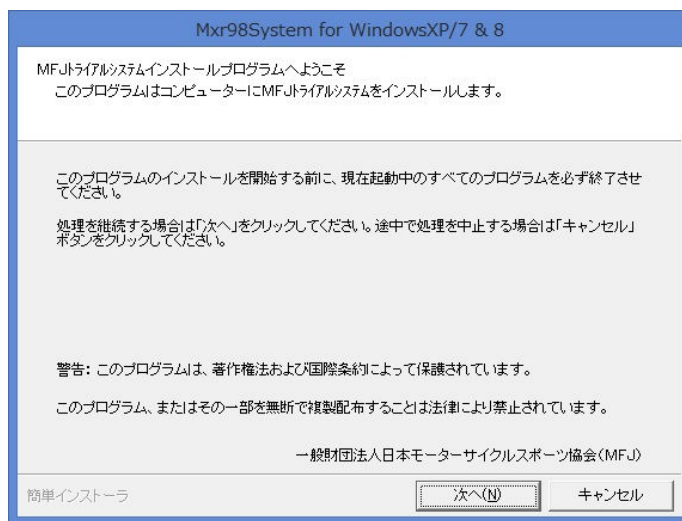
TR\_setup としか表示されない場合は「ファイル名拡張子」を表示するように設定すると exe であることが確認できます。



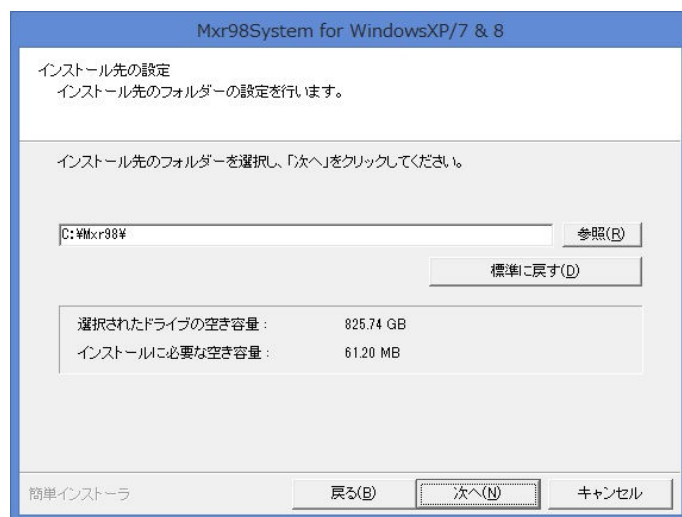
「このコンピュータへの変更を許可しますか？」の問いに「はい」を選択します。

### 3-3. インストール開始

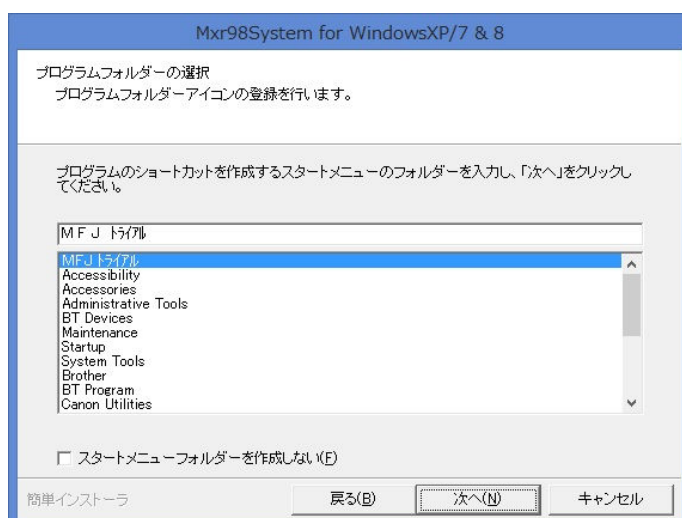
旧バージョンがインストールされている時は、バージョンアップを行いません。



「次へ」ボタンを押してください。



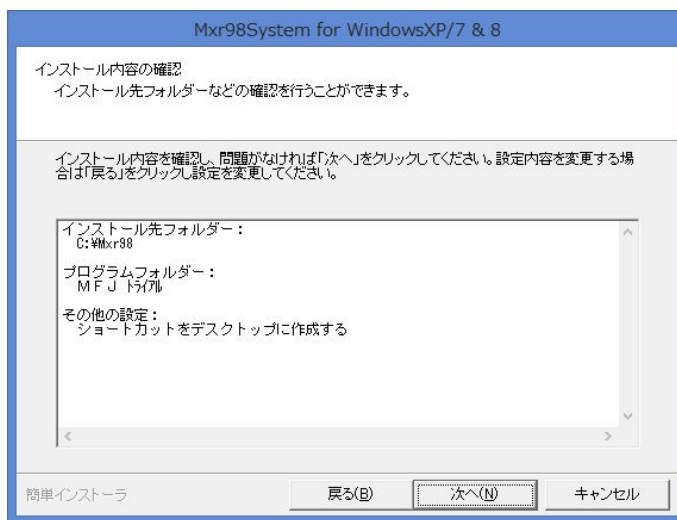
そのまま「次へ」ボタンを押してください。



そのまま「次へ」ボタンを押してください。

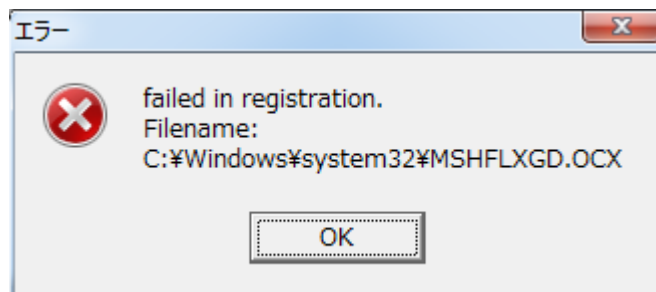


そのまま「次へ」ボタンを押してください。



そのまま「次へ」ボタンを押してください。

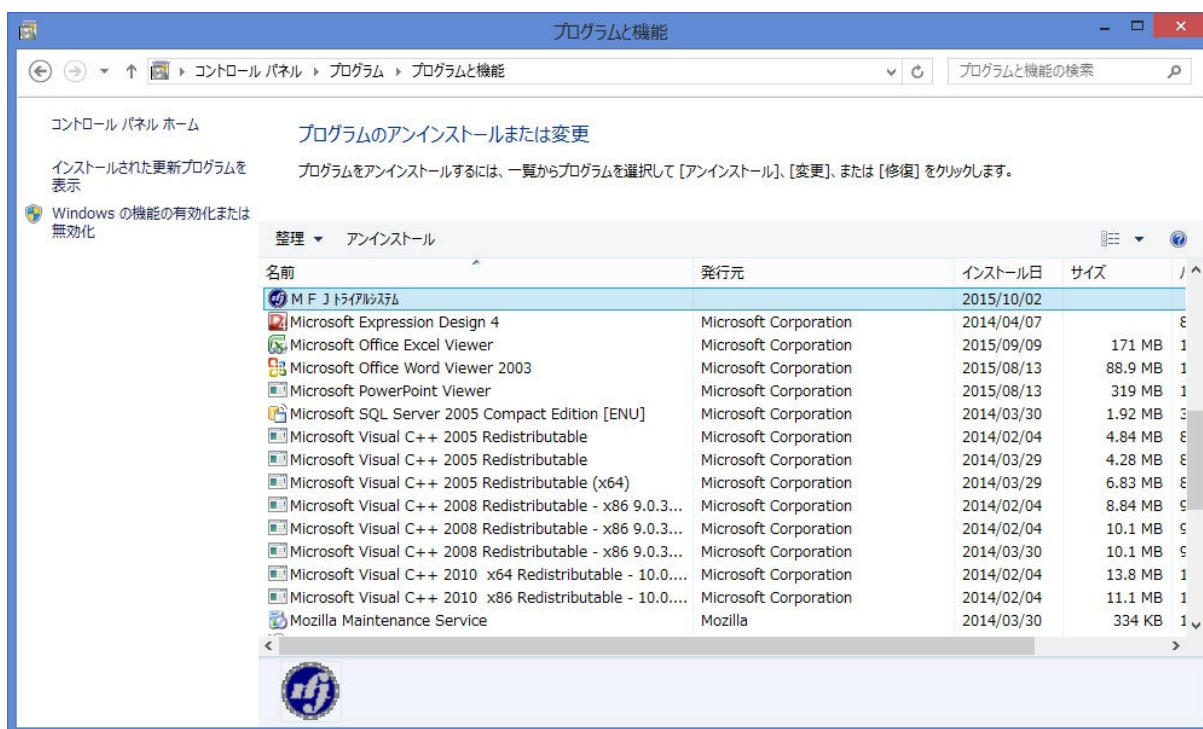
インストール途中でエラーがでる場合がありますが OK ボタンを押して続行してください。





インストールが完了しました。「完了」ボタンを押してください。

### 3-4. アンインストールするときは



アンインストールしたい場合は「プログラムと機能」から「MFJ トライアルシステム」を選んでアンインストールしてください。

## 4. ScanSnap マネージャー のインストール

### 4-1. ScanSnap S300 または S1300i の場合

富士通のスキヤナに添付されている ScanSnap セットアップ CD-ROM をパソコンにセットして、インストールを行なってください。

最初に下図が表示しますのでインストールを押します。



ScanSnap を押します。



ScanSnap のインストールを終了します。

インストールが終了したら 13 ページの 5.ScanSnap オーガナイザーによる設定へ進んでください。

#### 4 - 2. ScanSnap iX1300 の場合

開発元である株式会社 PFU 社における

ドライバソフトウェア「ScanSnap Manager」は、2024 年 11 月 7 日をもって提供およびサポートを終了しました。

**※インストール媒体が手元にない方は**

**MFJ 日本モーターサイクルスポーツ (TEL : 03-5565-0900) トライアル競技担当宛てに連絡をいただくと CD-ROM をお貸しできますのでご一報ください。**

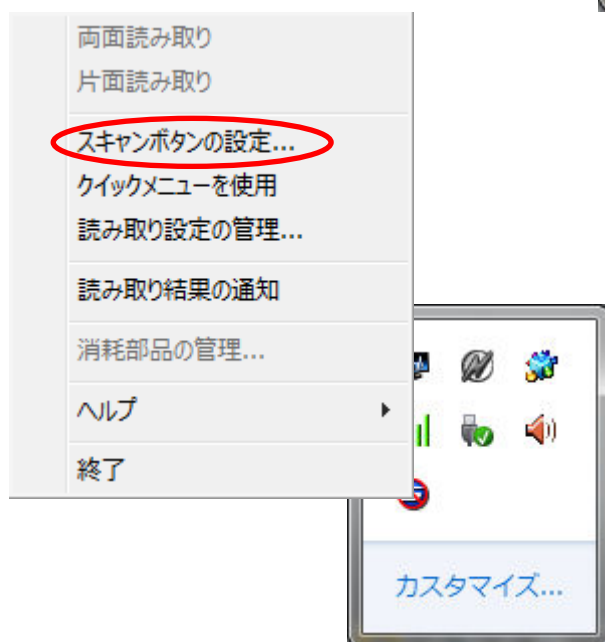
## 5. ScanSnap オーガナイザーによる設定

ScanSnap オーガナイザーを起動して下さい。

WindowsXP では画面下のタスクバー、Windows7 以降ではタスクバーの隠れているインジケータを開くと下図いずれかのアイコンがあります。

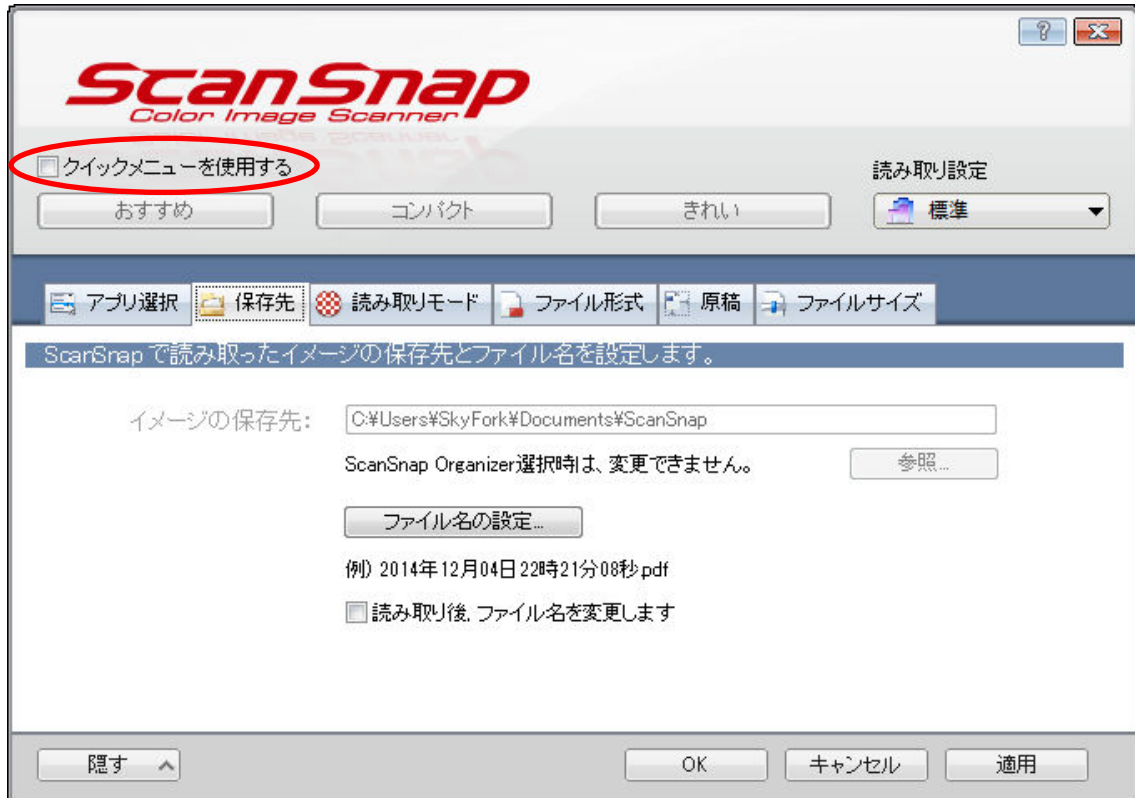


このアイコンを右クリックします。

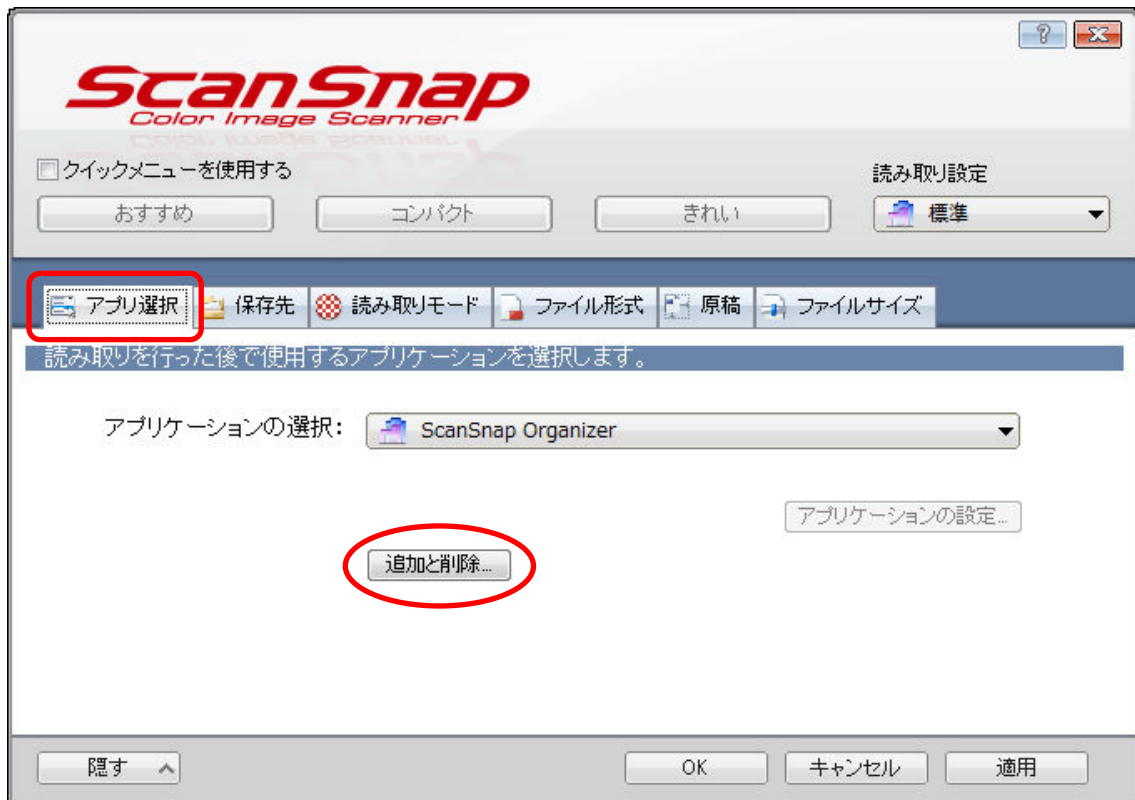


「スキャンボタンの設定」を選択します。

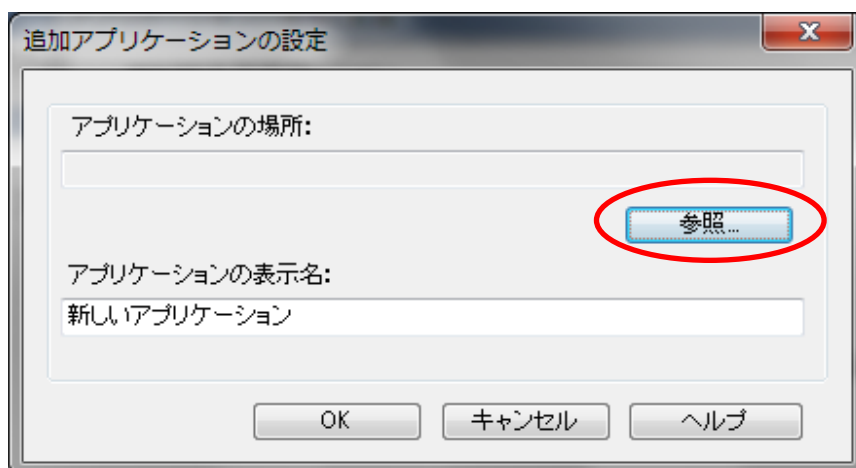
クイックメニューを使用する のチェックを外します。




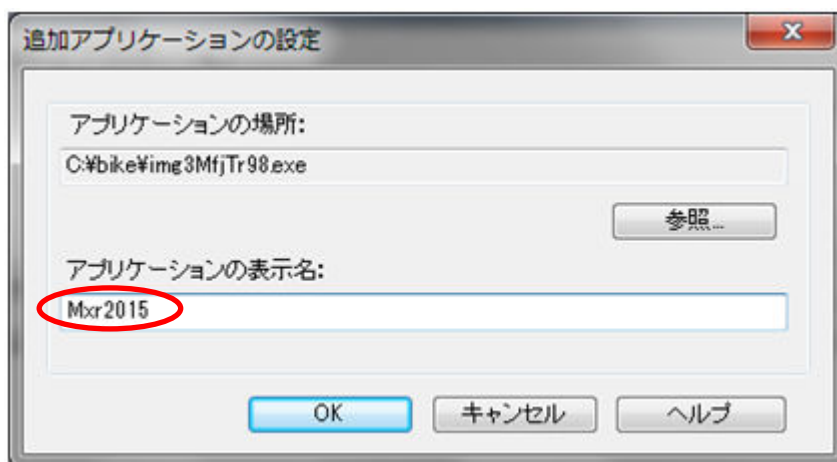
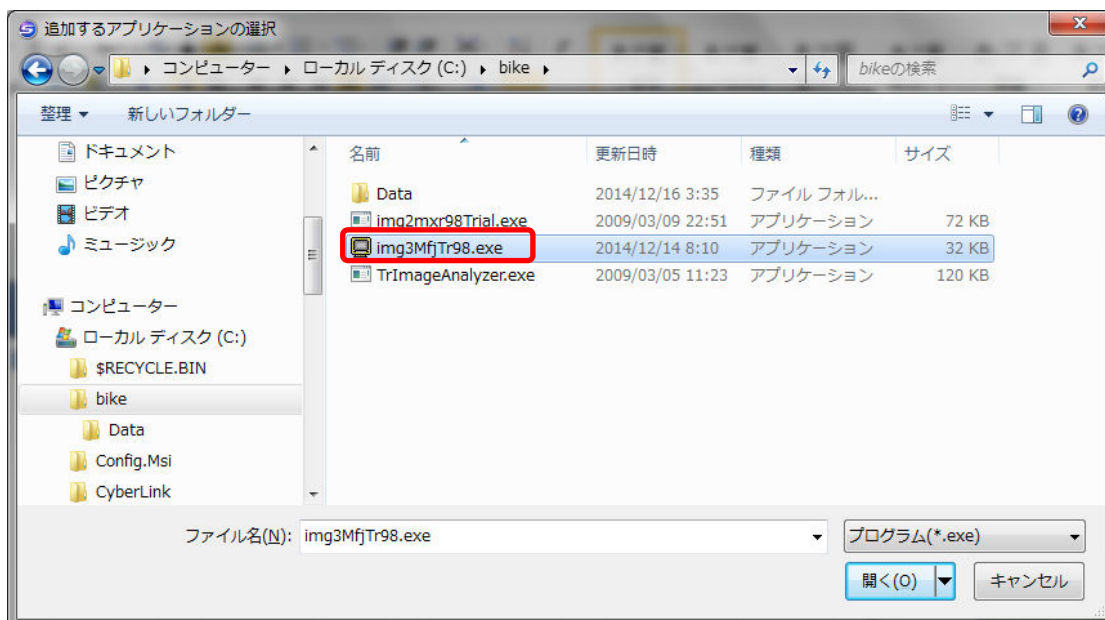
アプリ選択 のタブを押し、追加と削除ボタンを押します。



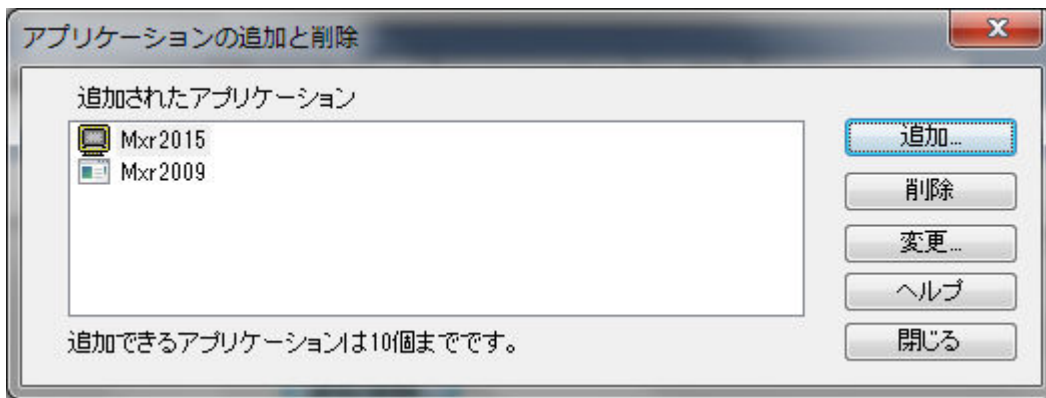
参照ボタンを押します。



Cドライブのbikeフォルダからを選びます。



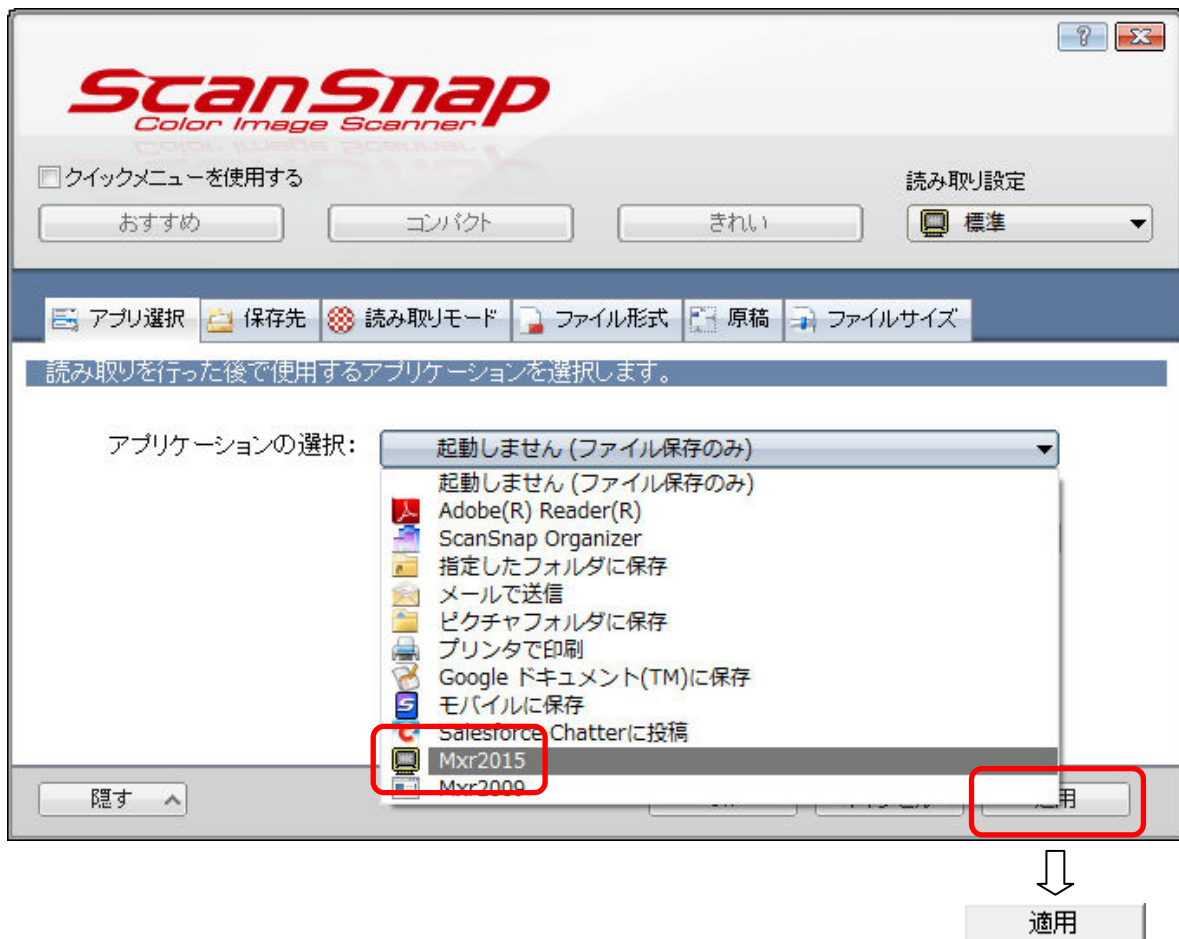
アプリケーションの表示名は自由に付けられます。(漢字でも可)  
ここでは Mxr2015 と入力して OK ボタンを押してください。



Mxr2015 が存在することを確認して閉じるボタンを押します。

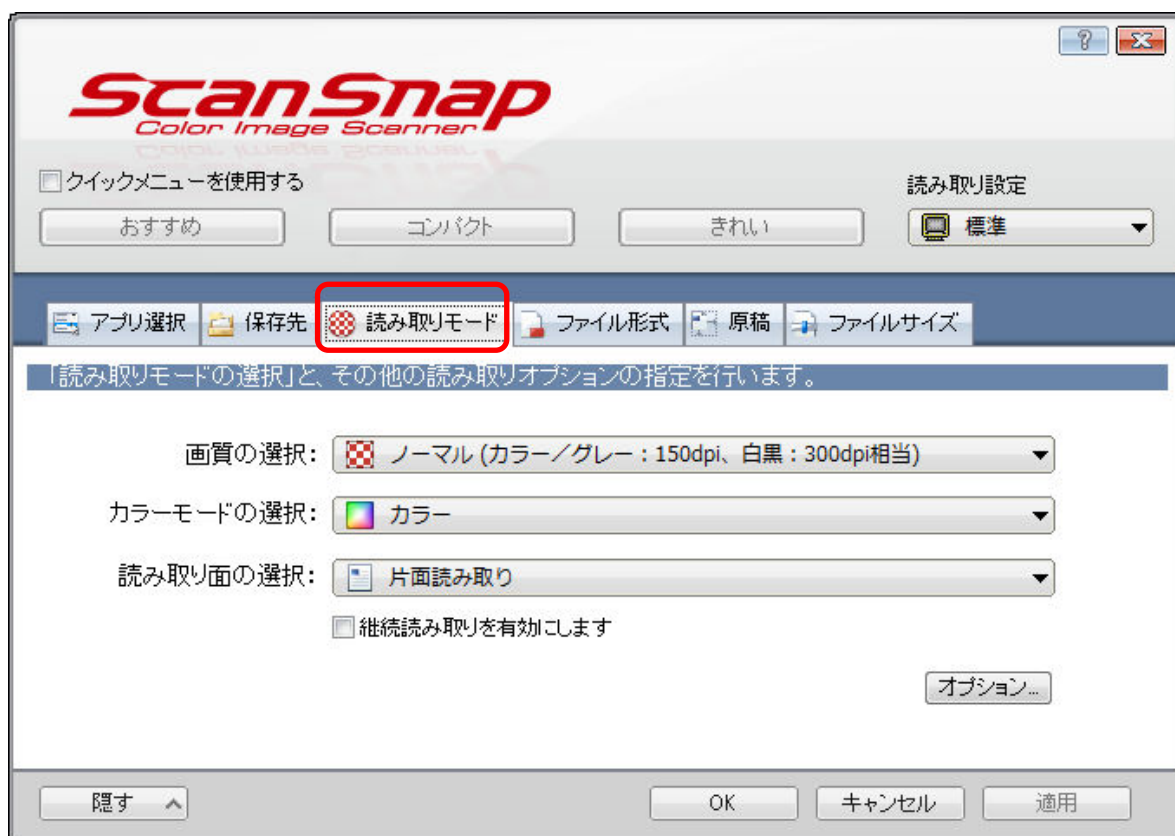
プルダウンを開いて Mxr2015 を選択します。

その後、適用ボタンを押します。



読み取りモード のタブを押し、下図の様に設定します。

※ScanSnap S300 または S1300i の場合

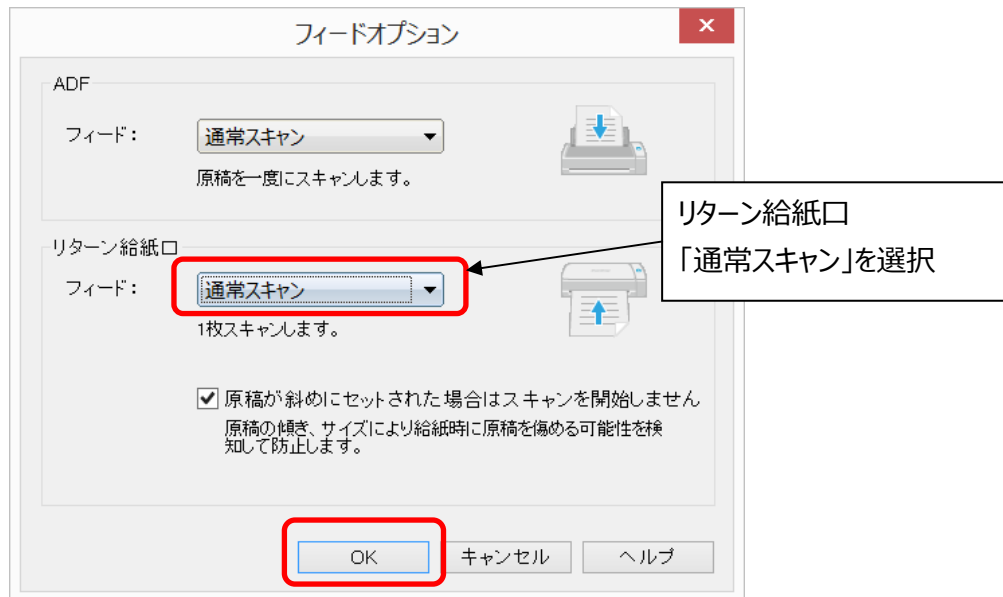


「継続読み取りを有効にします」にはチェック不要です。

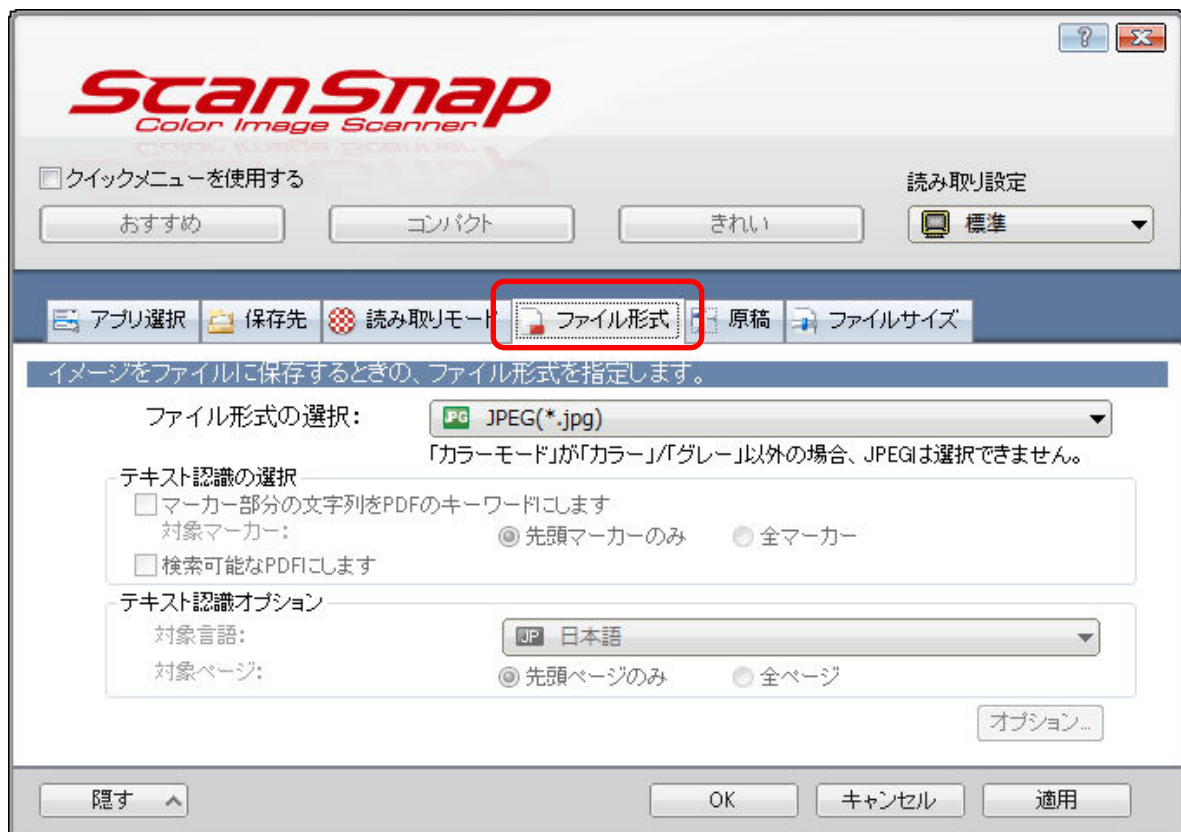
※ScanSnap iX1300 の場合



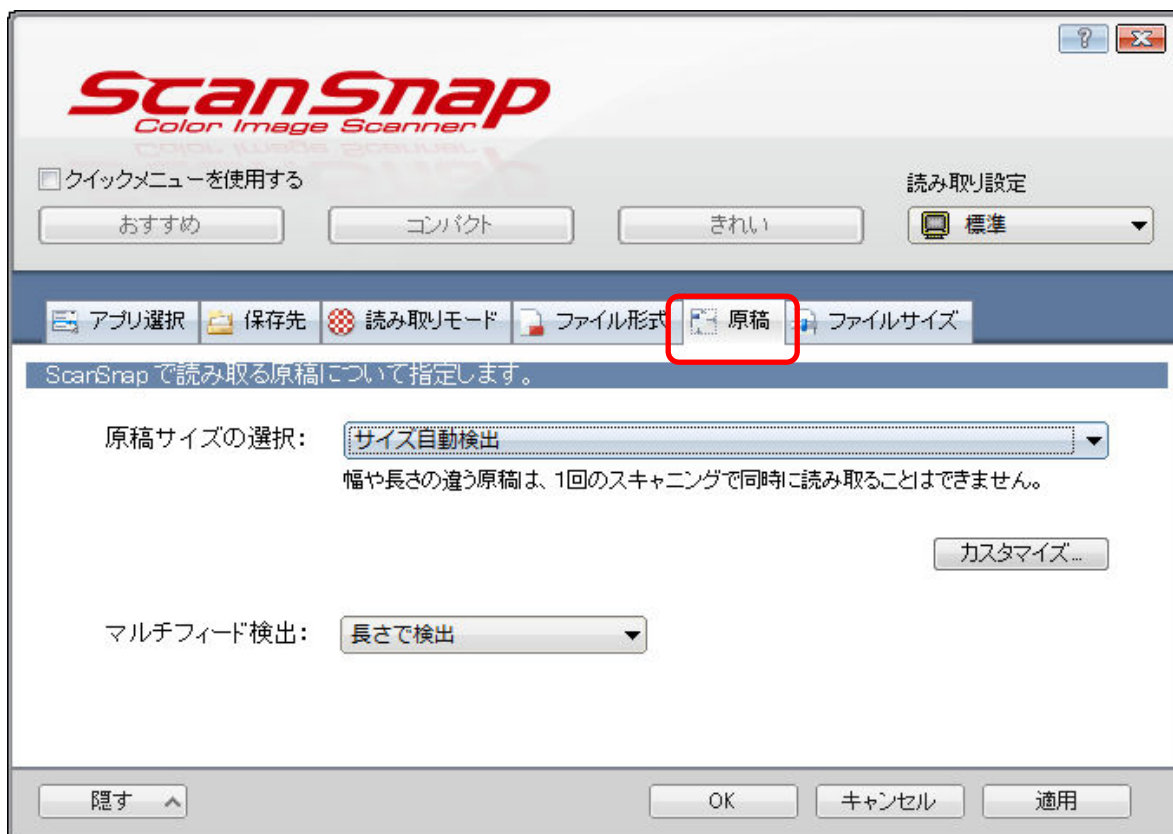
## ScanSnap iX1300 フィードオプション画面



ファイル形式 のタブを押し、JPEG(\*.jpg) を選択します。



原稿 タブを押し、サイズ自動検出を選択します。



ファイルサイズ タブを押します。スライダを左に動かし、圧縮率：1 に設定してください。



OK ボタンを押して設定を終了します。

## ※ScanSnap iX1300 のみ設定



このアイコンを右クリックします。



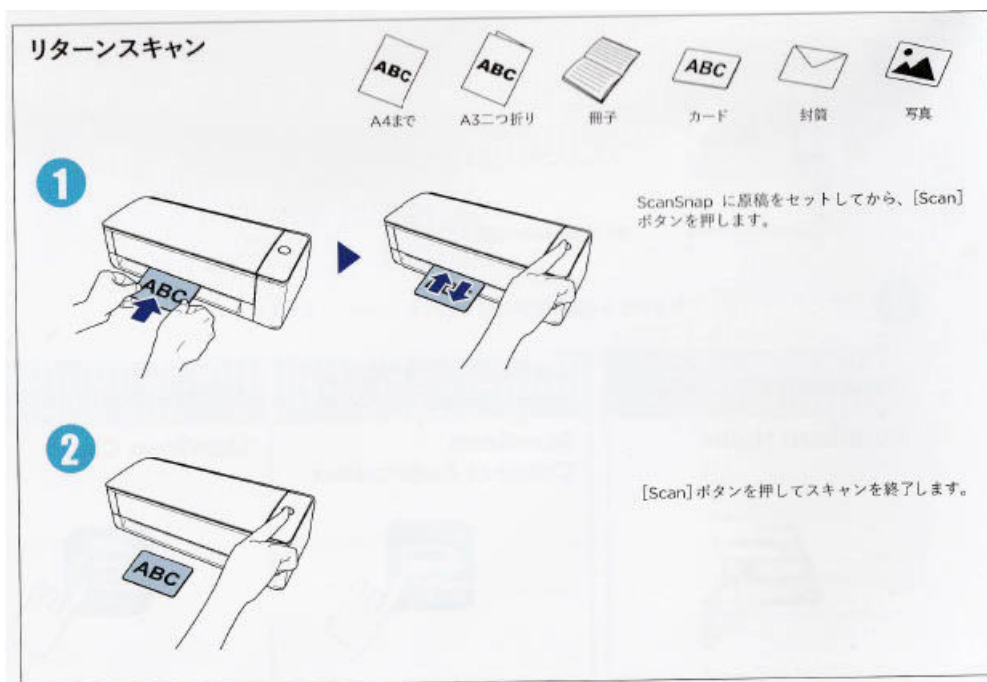
「環境設定」を選択します。



「電源」の起動モード：「クイック」を選択して OK ボタンを押します。

※ScanSnap iX1300 ではリターンスキャンが使いやすいです。

パンチカードを読み込ませる際は ScanSnap 下部のリターン給紙口中央になるべくまっすぐにセットしてください。



## 6. パンチカードをスキャナにセットする向き

使用する機材によっては下記と異なる場合があります。

ScanSnap を WindowsXP で使用する時パンチカードは表面を手前にしてスキャナにセットしてください。

表面

セツケン	氏名				
30	1	2	3	4	5
20	1	2	3	4	5
10	1	2	3	4	5
80	1	2	3	4	5
70	1	2	3	4	5
60	1	2	3	4	5
50	1	2	3	4	5
40	1	2	3	4	5
30	1	2	3	4	5
20	1	2	3	4	5
10	1	2	3	4	5
9	1	2	3	4	5
8	1	2	3	4	5
7	1	2	3	4	5
6	1	2	3	4	5
5	1	2	3	4	5
4	1	2	3	4	5
3	1	2	3	4	5
2	1	2	3	4	5
1	1	2	3	4	5
クリン	1点×	2点×	3点×	5点×	
タイム	計				

Windows7 Windows 8 で使用する時パンチカードは裏面を手前にしてスキャナにセットしてください。

裏面

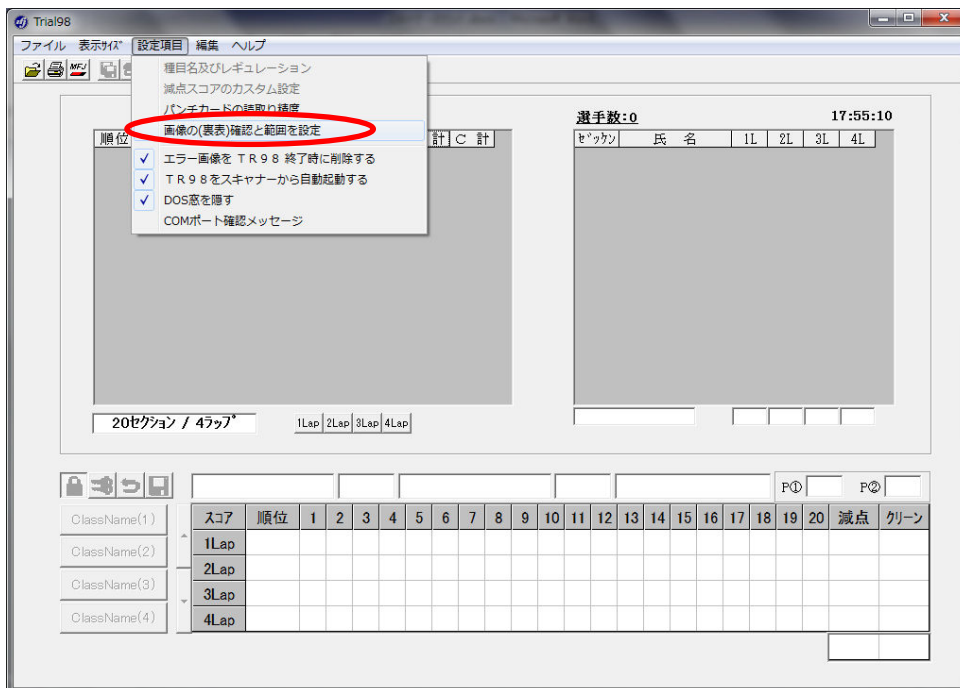
The back side of the punch card shows a grid of punch holes. The holes are arranged in a pattern that corresponds to the data on the front side. The top row has 5 holes, the second row has 5 holes, and so on, down to the bottom row which has 5 holes. The holes are arranged in a way that they can be scanned to read the data on the front side.

## 7. 画像の(裏表)確認と範囲を設定

読み取る画像のサイズは 150KB～180KB に制限しており、この範囲外の画像はパンチカードではないと判断しますので「Tr98 トライアル競技」が起動中でも他の原稿をスキャンすることができます。

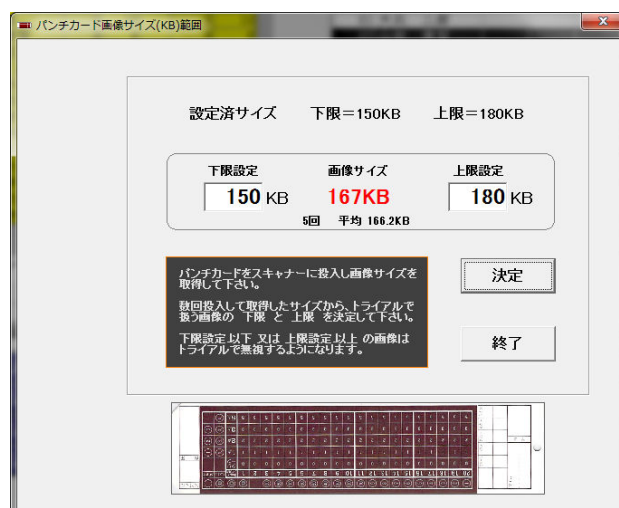
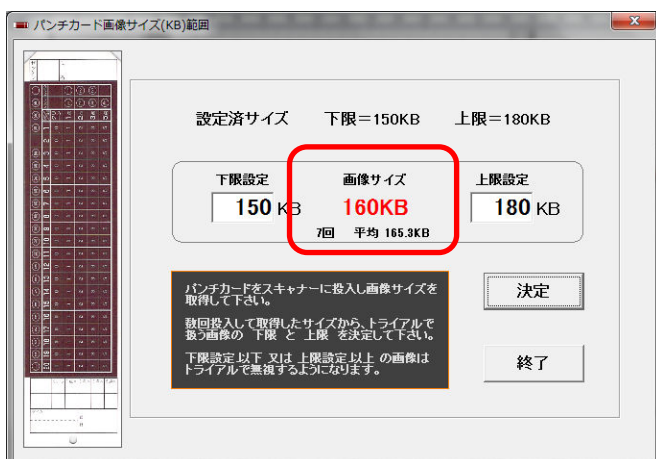
機材によっては、この範囲外になる場合が想定されますので、次の確認を行って下さい。

「Tr98 トライアル競技」を起動し「画像の(裏表)確認と範囲を設定」を選択します。



パンチカードを投入すると、画像とサイズが表示します。

使用のパソコンやOS、投入した状況により縦横上下が逆転する場合がありますが無視してください。



画像サイズが範囲外になる時は、下限設定、上限設定を変更してください。

取り込んだ画像により自動で下限、上限の値が変わる時がありますが、値を入力する事もできます。

設定値は 下限設定 < 画像サイズ < 上限設定 となるようにしてください。

下限は画像の平均サイズから - (15～20)位、上限は画像の平均サイズから + (15～20)位